

秋田大学 高等教育グローバルセンターニュースレター

Vol.7
2022.9

GLOBAL CENTER FOR HIGHER EDUCATION NEWSLETTER



教育活動部門長
宮本 律子

教育活動部門長 就任挨拶

今年度4月から教育活動部門長に就任しました国際資源学部の宮本です。

教育推進主管として、全学の教養基礎教育のサポートをしています。さて、教養とは何でしょうか？教養とは、個人が社会とかかわり、経験を積み、体系的な知識や知恵を獲得する過程で身に付ける、ものの見方、考え方、価値観の総体ということができるでしょう。これは決して大学1・2年生のうちには身に付けられるものではないことは明らかですね。私たちは今、感染症の危機、世界的なエネルギーや食糧問題といった未曾有の複合的な課題を前にして、自らが今どのような地点に立っているのかを見極め、今後どのような目標に向かって進むべきかを考え、主体的に行動していく力を持たなければならない。この力こそが、新しい時代に求められる教養であると考えられるのです。皆さんには、学生である今、大いに考え、悩み、議論し、力を蓄えて行って欲しいと願っています。私たちはそれを全力でサポートしていきます。



令和4年度第1回海外留学説明会

2022年5月31日（火）、オンラインで海外留学説明会を開催し、計17名の学生が参加しました。本説明会では、海外留学を考えている本学の学生が今後1～2年先を見据えた留学計画を立てられるよう、情報提供（秋田大学留学制度、教養教育科目「海外短期研修」、イングリッシュ・マラソン）を行ったほか、留学経験のある学生及び留学中の学生との座談会を実施しました。本説明会の動画および資料は下記QRコードよりご覧いただけます。また、後期にも今年度2回目となる説明会を開催予定です。

➤動画（Youtube）



URL:
<https://www.youtube.com/watch?v=C1pHkXM6gIs>

➤資料（秋田大学国際交流HP）



URL:
https://www.akita-u.ac.jp/honbu/global/ja/abroad/outbound/pdf/ryugaku_event02.pdf

国際交流イベント「LET'S MEET UP! -多言語で話そう-」

2022年6月23日（木）7月21日（木）にそれぞれ開催された「LET'S MEET UP! -多言語で話そう-」の参加学生による感想を紹介します。本イベントは、日本語または様々な言語によってコミュニケーションをするイベントです。次回開催の際にはa・netにて告知しますので、ぜひご参加ください。



国際資源学部 資源地球科学コース 特別聴講学生 Naufal Fauzandhiya

“Mina-san、Konnichiwa! My name is Naufal Fauzandhiya、I am an exchange student from Padjadjaran University、Indonesia. Last week on June 23rd、I participated in an event that was held by Akita University Global Center for Higher Education called “LET’S MEET UP”. It was an event where we could meet new people to talk and share something. The event was very fun and interesting because I have an opportunity to get to know various people from other countries. I made a lot of new friends there and I really enjoyed it. We played some interesting ice-breaking games and we talked about a lot of things such as cultures、colleges、and hobbies. I also learned a lot about other countries、especially their language. This kind of event is exactly what I imagined as an exchange student. I can’t wait for the next “LET’S MEET UP” event!”

理工学部 生命科学科 生命科学コース 1年次 平田 優香

私は今回初めてLET’S MEET UPに参加したのですが、とても楽しい時間を過ごせました。今までは大学で過ごしていて留学生と話したことがなく、また会ったこともあまりなかったのですが教室に入ったときたくさんの国の方がいてこんなにもいろいろな国籍の方が在籍していたことに驚きました。またランダムで4、5人のグループに分かれたときにみんなが使える言語を探してその言語を使いながら会話をするのですが、全員が日本語を喋れる訳ではないので日本語と英語を混ぜて話したり、伝わらない言葉を他の言葉で言い換えたりしているうちにどのように言えば伝わるのか分かるようになり、また時間が経つにつれてスムーズに会話ができるようになり自分と国籍も文化も全く異なる方たちと意思疎通できていることに感動しました。次参加する機会があった際には今回よりももっと積極的に話していきたいです。



留学体験記

🗨️ ハンバット大学

教育文化学部 地域文化学科 国際文化コース 4年次 齊藤 萌加

2022年の3月から秋田大学派遣交換留学制度で韓国・大田広域市にあるハンバット大学に留学している齊藤萌加です。大学では日本語学科に在籍し、留学生向けに開講されている韓国語の授業と日本語学科の授業を履修しています。今回の留学では、語学力（韓国語能力）の向上と卒業論文の調査を主な目的として設定していました。ここまでの留学生生活を振り返るならば、これらの目標に向かって充実した活動ができているといえるでしょう。日々の授業では自分の考えを発言したり、討論やプレゼンテーションを行ったりする機会が多く、まさに「韓国語を学ぶ」より「韓国語で学ぶ」ことを通して言語運用能力を高めています。さらに現在、卒業論文として「韓国のデモ文化」をテーマに研究を進めていますが、関係者へのインタビューや国内の報道をチェックするなど、論文に関する材料を集めています。このほかにも、異文化交流やサークル、ボランティア活動など、自身が考えていた以上にたくさんの経験を積むことができ、日々自分の成長を感じています。留学を応援してくださった方々や留学先でのひとつひとつの出会いに感謝しながら、残りの留学期間も悔いなく生活したいです。



上：エキスポ橋

下：学術文化体育祭



📌 令和3年度 秋田大学 教養基礎教育優秀授業奨励賞

高等教育グローバルセンターでは、教養基礎教育科目の授業評価（総括的）において、学生からの評価が特に高い教員を、優秀授業奨励賞受賞者として年に1度表彰しています。

令和3年度 秋田大学教養基礎教育優秀授業奨励賞を受賞された2名の先生方に「授業における工夫」、「授業の狙い・考え方」、「学生に対する思い」を授業の概要とともに伺いました。

🗨️ 受賞教員 高等教育グローバルセンター 准教授 市嶋 典子

今回、平成29年度に続いての2回目の受賞となり、とても嬉しく思います。

教養基礎教育科目「多文化コミュニケーション入門II－他者の文化を発見する」では、日本語教育学において、文化、アイデンティティ、シティズンシップがどのように捉えられてきたのかを概観し、その問題点を考察しました。さらに、対話活動を通して、ごく身近な「他者」という文化について考察することで、文化の多様性・可変性について理解することを目指しました。授業は、留学生や日本人学生によるディスカッションを中心に進めました。

学生達のディスカッションには、日本語教育学に関するとても重要な示唆が見られ、私自身の教育、研究に還元することができました。

🗨️ 受賞教員 教育文化学部 准教授 河又 邦彦

「ライフサイエンスII」ではメンデル遺伝の理解を目指しています。1953年の二重らせんモデルの提唱以降、猛烈な勢いで分子生物学の理解が進みました。今ではゲノム編集により遺伝子を自由に改変できるようになりましたが、メンデル遺伝が多くの生物に見られる普遍的な遺伝原理であることに変わりはありません。しかし、メンデル遺伝は中学と高校の谷間に落ち込んで、どちらでも中途半端に教えられている状況です。

この講義はテキストを自分で勉強して進んでいくという自習スタイルをとっています。解らない所は聞くのが手っ取り早いのですが、教員に質問するのはハードルが高いようで、質問できない学生も多くいます。なので、4回の小テストで学生の理解度を把握し、こちらから積極的に声をかけるようにしています。理解することの楽しさを体験してほしいと思っています。



専任教員からひとこと

高等教育グローバルセンター
助教 袁 曉犇

主に留学生や交換留学生向けの日本語の授業を担当しますが、日本人学生と留学生と一緒に受ける科目も二つ担当しています。例えば、「Introduction to Participatory Workshops I」の授業で、秋田や東北のツアーリズムを促進するために、どんなことができたらいいか毎回グループワークをします。日本人学生だけではなく、ドイツ、中国、タイ、ウクライナ、様々な国の留学生が参加しています。

異なる文化や国の人たちとグループワークをするとき、物事の見方や考え方がそれぞれであり、他者を尊重し、相手の意見を受け入れる姿勢が不可欠です。しかし、その姿勢だけでは最終の成果につなげることができません。大事なのは意見の違いを恐れず、意見の対立からより良い解決策を見出そうとするプロセスです。相手が自分と違う考えを持つ理由を聞くなり、自分の考えをもっと丁寧に説明するなり、色々な工夫をしていく必要があると考えます。



秋田大学 国際交流関連データ

■国際交流協定校数 (2022年9月1日現在)
大学間協定 (33カ国・地域68大学)
部局間協定 (21カ国・地域36学部等)

■留学生数 (2022年5月1日現在)
学部生 105名
大学院生 100名
交換留学生・研究生等 24名
合計 229名



編集・発行：

国立大学法人 秋田大学 高等教育グローバルセンター

連絡先：国際課 (国際交流部門事務担当)

TEL：018-889-2870 E-MAIL：kokusai@jimu.akita-u.ac.jp

総合学務課 (教育活動部門・教育開発部門事務担当)

TEL：018-889-3192 E-MAIL：kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp